

第32回定期演奏会

第32回定期演奏会は、2月11日午後2時より、栃木市文化会館大ホールにおいて行われた。



白いドレスを身に纏い、女声合唱曲集他7曲を演奏する本学合唱団

第2部は、室内楽研究会の部員による打楽器五重奏で、「Bachanale」と「イントロダクション&ダンスNo.2」が

第1部は、恒例の本学合唱団による学生歌「芙蓉を仰ぐ」の演奏で幕が上がり、次いで、初等教育学科1年生女子・本学合唱団2年生・本学合唱団卒業生による女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」を演奏。つづいて、初等教育学科1年生男子・2年生全員と室内楽研究会による混声合唱と器楽合奏で、「上を向いて歩こう」・「夜空ノムコウ」を演奏。

演奏された。つづいて、小川裕二教授によるバリトン独唱「落葉松」が演奏された。

第3部は、本学合唱団により、女声合唱曲集「地平線のかたへ」より4曲、そして「合唱コンクールから生まれた名曲」3曲が演奏された。

この日のために厳しい練習を重ねてきた学生は、客席からの喝采を浴びた瞬間に、改めて自分の経験を誇りに感じただろう。

室内楽研究会 東関東大会出場



東関東大会銅賞受賞の打楽器五重奏

写真提供：榎フォトライフ

12月13日、第2回栃木県東南地区アンサンブルコンテスト(壬生町中央公民館)にて、室内楽研究会から打楽器五重奏3チームが出場し、金賞・銀賞を受賞した。金賞受賞チームは、12月23日、第41回栃木県アンサンブルコンテスト

(栃木市文化会館)に出場して銀賞を受賞し、栃木県代表として東関東大会へ推薦された。第15回東関東アンサンブルコンテスト(君津市民文化ホール)は、1月23日に開催され、打楽器五重奏で銅賞を受賞した。

進路支援



「強み発見LIVE」講師の三井豊久氏

2年生の就職内定状況は、一昨年初以降の経済不況の影響を受け、当初の予想以上に厳しいものとなった。特に、前年度と比べて昨夏以降の求人数が激減したこともあり、苦戦を強いられた。そこで、今年1月28日、2年生で就職が内定していない学生限定のセミナー「強み発見LIVE」を、有限会社ルーマス代表・強み引き出し研究所所長三井豊久氏を講師に迎えて開催した。最初に「会社とは何か」「仕

事とは何か」が話された後、学生一人ひとりの強みが丁寧に引き出された。参加学生は気持ちが高揚し、自分に自信が持てたと感想を述べた。自己を知る意味を理解できたようである。参加した学生がその後就職試験を受け、内定を獲得した報告も続いている。1年生については、今年度に見込まれる状況を踏まえて、進路ガイダンスを次の通り実施した。○5月27日インタビュレーションのすすめ○7月1日職業意識啓発セミナー○10月21日マイナビの登録の仕方と活用法○10月21・28日就職模擬試験○12月2日一般企業・医療・幼稚園内定者、公務員試験合格者による先輩の就職活動体験談○1月13日就職実践指導ガイダンス○2月10日公務員・教員・保育士ガイダンス/編入学ガイダンス

日々の経験と努力が自分の活力になり、自信に繋がるものである。説明会等に積極的に参加して情報を収集し、目的意識を高く持って就職試験に臨んでいただきたい。相談や質問は学生支援室まで。

もつこころ

産経新聞「談話室」欄(二月二六日)に、バスケ部メンバーの冬五輪の選手の服装問題に寄せられた新潟県三条市の松野恵一さんの声。

「人間は外見より中身が大事だ、というひとがいる。確かに人間性は大事なポイントのひとつだと思う。しかし、まずは相手によい印象を与えることが大事だ。第一印象がいかにこしたことはない。よい印象はまず服装からだ。印象を判断するのに要する時間は心理学者によると三十秒から四十秒だそうだ。この第一印象は、良くも悪くも約三年間は人の思いに残るといわれるから驚く。第一印象を構成するのは「視覚」「聴覚」「内容」の三つだが、そのうち視覚は五五%で断然大きい。聴覚は言葉遣い、声、トーンなどで三三%、内容となるとわずか七%になっている。身だしなみがいかに大事であるかが分かる。おしゃれは自分らしさを求めて自分のためにやり、身だしなみは相手にいって相手のためにやること。TPOを考えた身だしなみができて、本当のおしゃれができるというものだ」

(好)